

## 平成 1 8 年度当初予算 施策別概要

### 4 1 3 水環境の保全

( 主担当部局 : 環境森林部 )

- 41301 安全・安心な水環境の確保 ( 環境森林部 )
- 41302 生活排水対策の推進 ( 環境森林部 )
- 41303 生物を活用した水環境保全対策の推進  
( 環境森林部 )
- 41304 伊勢湾の再生 ( 環境森林部 )
- 41305 水環境保全の研究の推進 ( 総合企画局 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 河川・海域の水質が

( 意図 ) 水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または浄化されている

#### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度
水浴びや水遊びができる水質 ( BOD2mg/L 以下 ) の河川の割合 ( % )	目標値	7 5	7 8	8 1	8 5
	実績値	7 9	8 4		

県内の河川水域 ( 2003 年度末現在 61 水域 ) のうち、河川の水質が水浴びや水遊びができる程度にきれいに維持または浄化されている ( 生物化学的酸素要求量 ( BOD ) 2mg/L 以下 ) 水域の割合

#### < 平成 1 8 年度に残っている課題 >

環境基準の達成状況から河川の水質については、総体的には横ばいから改善傾向にあるものの、閉鎖性海域においては依然として低いレベルで推移しています。

環境基準が達成されない大きな原因が生活排水に起因していることから、生活排水対策の早期の整備が必要です。

伊勢湾の再生・水質改善には、多様な主体との連携・協働を図る必要があります。

環境汚染が深刻化している閉鎖性水域 ( 英虞湾 ) における干潟、浅場、藻場などの自然浄化機能に係る研究を行っていますが、経過観察など複数年次にわたるため、引き続き実施していく必要があります。

#### < 平成 1 8 年度の施策の取組方向 >

河川、海域、地下水・土壌中の有害物質等の監視や地盤沈下の観測を実施するとともに、その結果を踏まえた必要な対策を実施します。

また、伊勢湾水質総量削減計画に基づき、C O D、窒素、りんにおける汚濁負荷量の削減の取組を進めます。

生活排水処理施設の整備にあたっては、それぞれの地域の実情にあった施設の整備を進めます。特に、生活排水処理施設整備率が低く、集合処理施設での整備が効率的でない地域においては、浄化槽の整備を重点的に進めます。

伊勢湾再生に資する各部局の取組を体系的に整理し、伊勢湾の水質の保全・改善に向けて取

り組むとともに、関係県市と連携した調査研究や普及啓発等にも取り組みます。

環境汚染が深刻化している閉鎖性海域（英虞湾）における干潟、浅場、藻場などの自然浄化機能について研究し、海域の水環境の改善をめざします。

< 主な事業 >

河川等公共用水域水質監視費【基本事業名：41301 安全・安心な水環境の確保】

当初予算額： 44,148 千円 39,662 千円

事業概要：公共用水域及び地下水の水質常時監視を実施します。

また、伊勢湾に流入する汚濁負荷量の削減のための総量規制を実施するとともに、伊勢湾の水質・底質の調査を行います。

生物を活用した水質保全費【基本事業名：41303 生物を活用した水環境保全対策の推進】

当初予算額： 18,223 千円 13,667 千円

事業概要：二枚貝などの水生生物を活用した環境改善機能等を確認するために勢田川における調査を実施します。

浄化槽設置促進事業【基本事業名：41302 生活排水対策の推進】

当初予算額： 728,341 千円 699,519 千円

事業概要：快適な生活環境の確保、水環境の改善を図るため、市町村が実施する浄化槽の設置や個人の設置に対し補助を行う市町村に対して助成し、浄化槽の普及を促進します。

〔	内訳：浄化槽設置促進事業補助金	246,689 千円	246,114 千円
	(重)合併処理浄化槽整備重点促進事業	481,652 千円	453,405 千円
〕			

伊勢湾再生事業【基本事業名：41304 伊勢湾の再生】

当初予算額： 3,950 千円 2,967 千円

事業概要：総合的・計画的に伊勢湾の再生を図るため、「伊勢湾再生ビジョン策定調査報告書」を踏まえ、伊勢湾再生にかかる普及啓発や調査研究を行うとともに、多様な主体との連携と協働による体制づくり、総合行政による推進に取り組みます。

閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業

【基本事業名：41305 水環境保全の研究の推進】

当初予算額： 22,853 千円 20,568 千円

事業概要：環境汚染が深刻化している閉鎖性海域（英虞湾）における干潟、浅場、藻場などの自然浄化機能について研究し、新たな環境を創生するため、沿岸環境創生技術の開発、底質改善技術の開発、環境動態シミュレーションモデルの開発の研究に取り組みます。